

令和元年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~		
	施策	08 地域福祉 - 地域で助け合って暮らせるまちを目指します -		
重点プロジェクト				
主管課	福祉部 福祉課	評価責任者	山中 昇	
		評価日	令和元年6月30日	
関連課	福祉総合支援チーム、障がい福祉課、子育て支援課、高齢福祉課			
目標	誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、支援を必要とする人が必要なサービスを適切に利用できるまちを目指します。また、地域で助け合い、支え合うことで、誰もが安全と安心を実感できる地域環境づくりを目指します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 地域支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉協議会や民生委員・児童委員等の地域福祉活動を通じて、市民の相互扶助意識を高め、地域住民同士の支え合い活動を活発化し、参加を促進します。 ○地域福祉活動の推進役となるリーダーの育成を行います。 ○民生委員・児童委員が地域福祉の中核として力を発揮できるよう活動環境を整備します。 ○コミュニティソーシャルワーカーを「ふくし総合相談センターよりそい」と「ふくし総合相談センターにじいろ」(平成31年4月開設)に配置し、支援を必要とする人を地域で支えるためのネットワークを構築します。 <p>(2) 地域福祉活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様化・複雑化する福祉ニーズにきめ細やかに対応できるよう、福祉サービスに関する情報提供を行い、市民の適切な利用を支援します。 ○成年後見制度の普及啓発を図るとともに、市民後見人を養成します。 			

2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	コミュニティソーシャルワーカーの配置					
		説明	地域支援体制のネットワークを構築するため、「ふくし総合相談センターよりそい」に1名、「ふくし総合相談センターにじいろ」に新たに3名配置し、4人に体制を強化した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	1	2	2	2	2	2
		実績値	1	4				
	指標 2	指標名						
		説明						
		単位						
	指標 3	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標 4	指標名						
		説明						
		単位						
指標 5	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	80,860	84,677	78,664			
	人件費	31,210	30,319	34,308			
収入	特定財源	10,795	10,936	12,045			
	一般財源	101,275	104,060	100,927			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	地域支援体制のネットワーク構築	新たに介護予防センター内に「ふくし総合相談センターにじいろ」を開設するとともにコミュニティーソーシャルワーカー3名を配置し、地域に身近な相談窓口及び住民の活動拠点として整備を図った。	「ふくし総合相談センターよりそい」と「ふくし総合相談センターにじいろ」のコミュニティーソーシャルワーカーや生活困窮者自立相談支援員が相互に連携することで、相談件数やアウトリーチによる対応件数が大きく増加した。	福祉総合支援事業（一部）
取組	民生委員・児童委員の活動環境の整備	3年に1度の一斉改選を実施するため、自治組織単位で構成した推薦準備会を立ち上げ、候補者の選出を頂くとともに、審査するための民生委員推薦会を開催した。	令和元年12月1日、5地区164名の民生委員・児童委員が厚生労働大臣より委嘱された。また、県の課題別研修や各種関係機関の研修への参加等を通し、職務に必要な知識及び技術の習得、向上が図れるよう支援に努めた。	民生委員・児童委員事務
取組	市民後見人の養成	社会福祉協議会への委託事業として、市民後見人養成講座修了者を対象にフォローアップ講座を実施した。	市民後見人フォローアップ講座を年3回開催し、36人が受講した。成年後見制度の普及啓発と法人後見支援員としての活動の充実に努めることができた。	成年後見制度利用支援等任意事業
取組	社会福祉協議会への補助	地域福祉活動の主体でもある社会福祉協議会に対し、補助金を交付し、活動を支援した。	社会福祉協議会への補助により、財政基盤の安定化を図り、地域福祉活動推進事業、高齢者福祉活動事業、権利擁護事業、生活困窮者対策事業、子育て支援事業、ボランティア活動等の各種地域福祉活動を推進することができた。	地域福祉推進事業
取組	地域福祉計画の進捗管理	福祉分野の総合的計画として策定した地域福祉計画について、地域福祉計画審議会を開催し、進捗管理を行った。	庁内策定推進会議及び審議会を開催し、第2期地域福祉計画の各施策の進捗状況の確認とともに、次年度に向けた取組内容の把握ができた。	地域福祉推進事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	生活困窮者等が抱える課題は日々複雑化し、求められるニーズは多様化している。常に制度や分野を越えた多機関が協働し、課題解決や支援にあたることのできる体制が求められている。そのため、活用できる資源を把握し、連携を更に進め、多機関との協働による支援体制の構築を推進するとともに、各種施策を有機的に活用し、施策目標の達成に向けた取組を行った。引き続き、公的な支援の活用のみならず、住民自らの力で課題を解決できるための啓発活動や意欲喚起、仕組づくり等により、地域力を高めていくことを進めていく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	地域福祉の担い手である社会福祉協議会には、市の地域福祉計画と連携する地域福祉活動計画に基づき、活動の推進及び実施主体としての事業展開が求められることから、安定した組織運営のために連携した取組が必須である。
おおむね有効	地域社会における民生委員・児童委員の果たす役割はますます重要であり、地域福祉の中核として力を発揮していただくためにも民生・児童委員への継続した支援が必要である。
施策の効果	
効果が得られている	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		援護・恩給事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~			
	施策	08 地域福祉 - 地域で助け合って暮らせるまちを目指します -			
予算費目					
一般会計 03民生費 01社会福祉費 01社会福祉総務費					
所管部課		福祉部 福祉課		評価責任者	内田 和明
事務事業期間		平成20年度~		評価日	令和2年6月30日
個別計画 根拠法令・条例等					
ふじみ野市遺族会補助金交付要綱、恩給法					
事務事業の内容	事務事業の目的	軍人、軍属等公務上の負傷もしくは、疾病または死亡に関し、国家補償の精神に基づき、軍人、軍属であった者、またはこれらの者の遺族を援護することを目的とする。 戦没者を追悼し、恒久平和を願い市主催の戦没者追悼式を開催する。			
	事務事業の経緯	戦没者の遺族の福祉の増進の為に結成された遺族会の活動に対し補助を行う。平成20年度に旧市町の遺族会がふじみ野市遺族連合会として合併。従前、大井支部は市から、上福岡支部は社協から補助金が支出されていたが、市からの補助として一本化し平成27年度に支部の統合を図った。21年度から2万円を減額した。			
	事務事業の概要	軍人、軍属であった者、またはこれらの者の遺族に対する援護事務を行うとともに、ふじみ野市遺族会の運営支援を行う。 2年に1度ふじみ野市戦没者追悼式を開催する。			
	令和元年度の主な取組	ふじみ野市遺族会補助金の交付 ふじみ野市遺族会運営及び会議の支援 国、県戦没者追悼式に係る支援 国、県からの戦没者遺族支援策等に係る情報提供 第十一回戦没者の遺族に対する特別弔慰金事務に係る準備			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.65	0.20	0.35
		人件費	5,263	1,596	2,793
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		5,263	1,596	2,793	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	340	0	380	
	使用料及び賃借料	86	0	57	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	506	506	506	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	19	0	104		
支出合計		6,215	2,102	3,840	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		6,215	2,102	3,840	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		54	18	33	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	遺族会年間事業数		
	説明	遺族会独自事業及び県連合会等主催事業への参加事業数を活動状況の指標と考えたため。(遺族会補助金分506千円に対する指標)		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	20	20	20
	実績値	30	30	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和元年度市の実施内容 戦没者追悼式(隔年実施) 令和2年度実施に向けた準備(会場予約等)
	第十一回戦没者の遺族に対する特別弔慰金事務(令和2年4月1日~受付開始) 令和2年度からの受付開始に伴う準備
	ふじみ野市遺族会運営支援 ・遺族会役員会(4月16日) 26名 ・遺族会総会(4月25日) 34名 ・遺族会役員会(5月31日) 25名 ・遺族会役員会(8月6日・7日) 16名 ・遺族会墓参事業(8月14日) 全会員 ・遺族会研修(10月10日) 36名 ・遺族会役員会(1月10日) 22名
	遺族会事業活動 ・市遺族会関係 11回 ・市他関係 6回 ・県遺族会関係 11回 ・全国遺族会関係 2回 計30回

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	戦没者の慰霊と遺族の福祉向上のため、遺族会への支援や戦没者追悼式の実施は必要であるが、遺族世代の代替わりも進みつつあり、後継世代の関わりやそのあり方については、今後検討を図る必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		福祉事務		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~			
	施策	08 地域福祉 -地域で助け合って暮らせるまちを目指します-			
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 01社会福祉総務費			
所管部課		福祉部 福祉課		評価責任者	内田 和明
事務事業期間				評価日	令和2年6月30日
個別計画 根拠法令・条例等		行旅病人及行旅死亡人取扱法、行旅病人及び行旅死亡人取扱いに関する規程、ふじみ野市災害見舞金支給条例、ふじみ野市社会福祉法人認可審査会設置要綱等			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域福祉サービスの充実を図ることを目的として必要な福祉事務を執行する。			
	事務事業の経緯	市町村の福祉事務として位置づけられている行旅死亡人の対応、災害見舞金の支給を実施している。平成25年4月1日から社会福祉法に基づく社会福祉法人の設立認可に関する審査助言、指導監査等の事務を埼玉県から権限移譲を受け実施している。			
	事務事業の概要	多様化する地域福祉サービスの充実を図るため、主に次に掲げる事業を実施している。 ・行旅死亡人 ・災害見舞金支給 ・社会福祉法人の指導監査 ・日本赤十字社関係事業の連携、推進			
	令和元年度の主な取組	・災害見舞金支給事務 ・社会福祉法人監査指導員による監査 ・行旅死亡人取扱委託事務 ・日本赤十字社関係事業の連携、推進 ・被災者生活復旧支援融資に係る利子補助金 ・部内及び課内報告事項とりまとめ ・課内の予算・決算事務			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.30	1.65	1.75
		人件費	10,525	13,164	13,962
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.00	0.00
		人件費	1,841	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		12,366	13,164	13,962	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	487	449	607	
	委託料	475	270	458	
	使用料及び賃借料	250	261	290	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	56	48	825	
	扶助費	0	5,370	1,440	
	その他事業費	369	169	374	
支出合計		14,002	19,730	17,956	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	535
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		14,002	19,730	17,421	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		123	172	150	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	災害見舞金の支給件数		
	説明	本来、災害などの事案は発生しない方がよいが、万が一発生した場合は、災害に見舞われた方に対する適正な支給を行うため、件数とした。		
活動	単位	件数		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	71	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>災害見舞金対象被害 火災事案 2件 台風第19号による床上浸水 67件</p> <p>災害見舞金支給実績 火災死亡 1件 400,000円 火災負傷 2件 80,000円 火災全焼 1件 200,000円 床上浸水 67件 4,690,000円 合計5,370,000円</p> <p>行旅死亡人取扱委託事務実績 1件</p> <p>社会福祉法人監査指導員による監査実績 1法人（高齢福祉課（秋桜園））</p> <p>被災者生活復旧支援融資に係る利子補助金 令和元年度47,513円（2名分） 借入れ金額262,000円、償還期間5年</p> <p>被災者生活復旧支援融資に係る利子補助金平成29年10月に発生した台風第21号により被災した市民に対する生活復旧を支援するため、平成29年12月14日から申請を受け付けた2名に対し、金融機関から受けた借入れ融資の利子分を補助するもの。</p> <p>日本赤十字社活動支援実績 義援金（東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨災害、北海道胆振東部地震、令和元年8月豪雨災害、令和元年台風第15号千葉県災害、令和元年台風第19号災害）</p> <p>赤十字奉仕団活動支援実績 災害救護に関する奉仕、社会福祉施設及び援護を要する者への奉仕、奉仕活動の円滑を図るため、各種講習会の開催等、赤十字奉仕団による活動を支援するもの。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	事業水準を維持し、引き続き継続する。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		地域福祉推進事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~		
	施策	08 地域福祉 -地域で助け合って暮らせるまちを目指します-		
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 01社会福祉総務費		
所管部課		福祉部 福祉課	評価責任者	内田 和明
事務事業期間		平成24年度~	評価日	令和2年6月30日
個別計画 根拠法令・条例等		社会福祉法 ふじみ野市社会福祉協議会補助金交付要綱 ふじみ野市社会福祉法人に対する助成の手続を定める条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	地域全体で支え合う地域福祉を実現するため、地域福祉計画を策定し、計画に位置付けられた施策の進行管理を図る。 社会福祉協議会の財源のうち会費や募金等は独自事業に充当されることから、必要とされる事務局の運営費を補助することにより財政運営の安定化を通じて、地域福祉の推進を図る。		
	事務事業の経緯	平成29年度に策定した「第2期ふじみ野市地域福祉計画（平成30年度～令和5年度）」の6年間の進行管理を行う。 社会福祉協議会は、行政や関係機関、団体などと連携を図り、地域福祉推進の中核的役割を担っており、それに対して行政は、組織面、財政面において協力や支援を行っている。		
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ野市地域福祉計画に基づく進行管理 ・ふじみ野市地域福祉計画審議会の開催 ・ふじみ野市社会福祉協議会への補助金支出 ・法人後見事業業務委託 		
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画の進行管理 ・ふじみ野市地域福祉計画審議会の開催 ・社会福祉協議会への補助金支出 ・社会福祉協議会と連携した法人後見事業の実施 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.25	0.35	0.45
		人件費	2,024	2,793	3,591
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.00	0.00
		人件費	1,841	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,865	2,793	3,591	
事業費	報酬	49	45	123	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	5,359	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	60,161	53,813	55,200	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	9	16	5	
支出合計		64,084	62,026	58,919	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		64,084	62,026	58,919	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		561	542	507	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	地域福祉計画審議会の開催数		
	説明	計画の策定のために実施した外部機関の会議開催数を活動指標として設定。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1	2	2
	実績値	1	1	
指標 2	指標名	コミュニティソーシャルワーカーの配置		
	説明	地域支援体制の構築を図る指標となるため、地域福祉のコーディネーターとしての役割を担うコミュニティソーシャルワーカーの配置人数とした。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1	2	2
	実績値	1	4	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>コミュニティソーシャルワーカー4人を生活困窮者自立相談支援窓口配置した。</p> <p>社会福祉協議会補助金 平成29年度 補助決算額63,271,863円 人口113,951人（平成30年3月1現在） 平成30年度 補助決算額60,161,013円 人口114,285人（平成31年3月1現在） 令和元年度 補助決算額53,812,524円 人口114,367人（令和2年3月1現在）</p> <p>法人後見事業 継続受任件数 13件（延べ打合せ、相談等回数 2287回）</p> <p>新規相談件数 9件 内受任件数 1件 受任件数合計14件</p> <p>市民後見人養成講座（受講修了者フォローアップ研修） 3回 延べ計36人 受講者自主学習会 3回 延べ計19人</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	地域福祉の推進のため地域福祉計画進行管理を行うと共に地域福祉の担い手である社会福祉協議会には、市の地域福祉計画と理念や仕組みを共有する地域福祉活動計画の推進及び実施主体としての事業展開が求められていることから、安定した組織運営のためには市と連携した取組みや支援を継続する。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		更生保護活動事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~		
	施策	08 地域福祉 -地域で助け合って暮らせるまちを目指します-		
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 01社会福祉総務費		
所管部課		福祉部 福祉課	評価責任者	内田 和明
事務事業期間		昭和25年度~	評価日	令和2年6月30日
個別計画 根拠法令・条例等		保護司法、ふじみ野市更生保護活動事業補助金交付要綱		
事務事業の内容	事務事業の目的	罪を犯した者及び非行のある少年の更生を助けるとともに犯罪や非行を予防し、地域社会の安全及び住民福祉の向上に寄与するものであることに鑑み、その地域において行われる保護司会及び更生保護女性会の活動に対する支援や協力を行う。		
	事務事業の経緯	犯罪者の更生、犯罪予防、地域社会の安全及び公共の福祉の向上に寄与することから、更生保護活動を推進している保護司会、更生保護女性会の活動を支援するため、補助金を交付している。		
	事務事業の概要	犯罪・非行の未然防止のため啓発活動、更生保護活動に対して団体への補助及び支援を行っている。 川越地区保護司会ふじみ野支部の活動支援 ふじみ野地区更生保護女性会の活動支援 川越地区更生保護サポートセンターふじみ野の設置及び活動支援		
	令和元年度の主な取組	川越地区保護司会ふじみ野支部の活動支援、補助金交付事務 ふじみ野地区更生保護女性会の活動支援、補助金交付事務 川越地区保護司会統一研修の開催補助 川越地区更生保護サポートセンターふじみ野の開設 ・保護観察所及び川越地区保護司会との連絡調整 ・開所場所の確保 ・備品準備		

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.55	0.35	0.50
		人件費	4,453	2,793	3,989
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,453	2,793	3,989	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	829	830	831	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	2	2	3	
支出合計		5,283	3,624	4,823	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,283	3,624	4,823	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		46	32	41	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	更生保護事業実施回数		
	説明	本活動が、罪を犯した者及び非行のある少年の改善更生を助けるとともに犯罪を予防し、地域社会の安全及び住民福祉の向上に寄与すると考え、指標を事業実施回数とした。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	120	120	120
	実績値	146	138	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	川越地区保護司会ふじみ野支部補助金交付	346,500円
	ふじみ野地区更生保護女性会補助金交付	27,000円
	事業実施回数	
	1関係団体等事業等への参加	35回
	2役員会	13回
	3理事会	10回
	4会報部会	7回
	5事業部会	1回
	5ミニ集会	15回
	6その他	57回
	計	138回
	川越地区更生保護サポートセンターふじみ野の設置にあたり関係機関との協議調整の支援を行った。 開所日：令和2年3月26日（木） 場 所：大井総合福祉センター3階に設置 開所日時：原則、毎月第2週・第4週木曜日 10：00～16：00	

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	更生保護に関する活動は、犯罪を犯した者の改善及び更生を助けるとともに犯罪を予防し、地域社会の安全及び住民福祉の向上に寄与するものであることから継続的に必要である。引き続き、社会情勢の変化に応じた活動展開等について会とともに検討していく。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		民生委員・児童委員事務		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ~みんなで支え合う思いやりのあるまち~			
	施策	08 地域福祉 -地域で助け合って暮らせるまちを目指します-			
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 01社会福祉総務費			
所管部課		福祉部 福祉課		評価責任者	内田 和明
事務事業期間		昭和23年度~		評価日	令和2年6月30日
個別計画 根拠法令・条例等		民生委員法 民生委員法施行令 埼玉県民生委員及び児童委員活動費等補助金交付要綱 ふじみ野市民生委員推薦会規則 ふじみ野市民生委員推薦準備会設置運営要綱ほか			
事務事業の内容	事務事業の目的	民生委員法第14条に規定された職務を遂行するため、民生委員・児童委員の活動環境を整備し、委員の資質向上を図ること及び、民生委員推薦準備会及び推薦会にて、地域の各層からの幅広い視野から、より適格な人材を民生委員候補者として選出をすることを目的とする。			
	事務事業の経緯	民生委員法に基づき、厚生労働大臣の定める基準及び埼玉県知事の定める市町村定数毎の民生委員を配置するため、民生委員としての適格者を厚生労働大臣に推薦する。また、民生委員・児童委員の活動を支援することにより、地域福祉の推進に努める。			
	事務事業の概要	住民の生活状況を必要に応じ適切に把握し、地域福祉の推進を図るため相談・支援等の活動を行う。 ・「ふじみ野市民生委員・児童委員協議会連合会」の事務局 ・「ふじみ野市民生委員推薦会」の開催。			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・欠員補充に向けた民生委員推薦会の開催 ・被推薦者の進達などの手続き ・民生委員・児童委員一斉改選手続き ・民生委員・児童委員退任式及び委嘱状伝達式の開催等 ・各関係機関との支援体制の構築 			

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.65	1.25	1.25
		人件費	5,263	9,973	9,973
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		5,263	9,973	9,973	
事業費	報酬	40	204	176	
	賃金	0	0	0	
	需用費	5	236	28	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	7	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	17,177	16,379	17,253	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	1	715	4		
支出合計		22,486	27,514	27,434	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	10,795	10,936	11,510
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		11,691	16,578	15,924	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		102	145	137	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	民生委員・児童委員の欠員数		
	説明	民生委員・児童委員の適切な配置を目指し、欠員数を設定した。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	0	0
	実績値	14	10	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>一斉改選時民生委員・児童委員委嘱状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定数...173名 ・令和元年3月31日現在委嘱数...163名（欠員10名） （現行在職者数 民生委員・児童委員154名、児童委員9名） <p>令和元年度民生委員・児童委員退任式及び委嘱状伝達式の開催 日時：令和元年12月8日（日）午後1時30分～ 会場：ふじみ野市総合センター「フクトピア」内 市民交流プラザ多目的ホール 参加者：約230名 退任民生委員51名 委嘱民生委員163名（新任51名、再任112名）</p> <p>民生委員推薦会開催及び候補者選考状況 第1回：4/24（7/1委嘱者4名） 第2回～6回：6/28、7/8、7/18、7/23、8/19</p> <p>民生委員・児童委員主な活動事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生委員・児童委員協議会連合会 4回 ・行政、県民児協、市・県社協等行事・研修 85回 ・会報委員連絡部会活動等 16回 ・主任児童委員連絡部会活動 15回 ・地区連絡調整会議等（会長会・各地区定例会） 毎月

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	民生委員の委嘱にあたっては、民生委員法に基づき市町村設置の民生委員推薦会が推薦することになっている。地域社会における民生委員・児童委員の果たす役割はますます重要となり、地域福祉計画の基本目標でもある「地域福祉を担う人づくり」の観点からも民生委員・児童委員への支援は必要である。
中長期的方向性	
継続	